T&D
T&D保険グループ

モルガン・スタンレー社債／マルチアセット運用戦略ファンド2018-12
愛称:攻守の果実 2018-12

第４期運用報告書（全体版）

（決算日　2022年12月16日）

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	単位型投信／内外／資産複合／特殊型（条件付運用型）
信託期間	2018年12月17日から2028年12月18日まで
運用方針	安定した収益の確保と信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。
主要運用対象	・モルガン・スタンレー・ファイナンス・エルエルシーが発行する円建債券を主要投資対象とします。 ・モルガン・スタンレー・ファイナンス・エルエルシーが発行し、モルガン・スタンレーにより保証される円建債券（以下「モルガン・スタンレー社債」ということがあります。）に投資し、設定日から約10年後のファンドの償還価額について、元本※確保を目指します。ただし、投資する債券の発行体等が債務不履行となった場合等には、元本確保ができない場合があります。また、信託期間中にファンドを解約した場合やファンドが繰上償還された場合等には、換金価額や償還価額が元本を下回る場合があります。 ※購入時手数料（税込）は含みません。 ・モルガン・スタンレー社債の組入比率は、高位とすることを基本とします。また、満期まで保有することを前提とし、原則として銘柄入替は行いません。 ・モルガン・スタンレーが提供するマルチアセット運用戦略を用いた円建の指数（以下「MS DIRSインデックス2018-12」ということがあります。）のパフォーマンスに基づいて算出される債券の利金の獲得を目指します。 ・MS DIRSインデックス2018-12の実質的な投資対象は、日本を含む世界各国の株価指数先物、国債先物、為替、商品先物、REIT等です。 ・モルガン・スタンレー社債の利金は、固定クーポンに実績クーポンを加えて算出されます。なお、固定クーポンは毎期一定水準支払われ、実績クーポンはMS DIRSインデックス2018-12のパフォーマンスに基づいて支払われます。 ・資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。
組入制限	・モルガン・スタンレー社債の投資割合には、制限を設けません。 ・株式への投資は、転換社債の転換または新株予約権の行使により取得したものに限り、投資割合は信託財産の純資産総額の５％以下とします。 ・投資信託証券（上場投資信託受益証券は除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の５％以下とします。 ・実質的な外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時（12月16日、休業日の場合は翌営業日）に分配を行います。 分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。

当ファンドは特化型運用を行います。

お客様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「モルガン・スタンレー社債／マルチアセット運用戦略ファンド2018-12」は、2022年12月16日に第４期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

T&Dアセットマネジメント株式会社
〒108-0014　東京都港区芝　５－36－７

お問い合わせ先
投信営業部 03-6722-4810
（受付時間：営業日の午前９時～午後５時）
https://www.tdasset.co.jp/

設定以来の運用実績、基準価額の推移等

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			受益者利回り	債券組入比率	債券先物比率	元本残存率
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落額	期中騰落率			
	円	円	円	%	%	%	%
設定日 2018年12月17日	10,000	－	－	－	－	－	100.0
1期（2019年12月16日）	10,425	210	635	6.4	6.4	99.5	－	80.8
2期（2020年12月16日）	10,640	109	324	3.1	4.8	99.5	－	74.1
3期（2021年12月16日）	10,299	74	△267	△2.5	2.3	99.2	－	59.4
4期（2022年12月16日）	9,503	10	△786	△7.6	△0.2	99.4	－	52.4

（注）基準価額および分配金は1万口当たり。基準価額の騰落額および騰落率は分配金込み。
（注）受益者利回りは、累計分配金込み基準価額の当初元本に対する年率換算利回りです。
（注）設定日の基準価額には、当初元本を用いております。
（注）先物比率＝買建比率－売建比率
（注）当ファンドは、特定の指数に連動すること、特定の指数を上回ることを目的として運用していないため、また、運用方針に対し適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額		債券組入比率	債券先物比率
		騰落率		
	円	%	%	%
期首（前期末） 2021年12月16日	10,299	－	99.2	－
12月末	10,323	0.2	99.2	－
2022年1月末	10,120	△1.7	98.8	－
2月末	9,958	△3.3	99.4	－
3月末	9,860	△4.3	99.5	－
4月末	9,749	△5.3	99.5	－
5月末	9,738	△5.4	99.6	－
6月末	9,700	△5.8	99.6	－
7月末	9,746	△5.4	99.6	－
8月末	9,774	△5.1	99.7	－
9月末	9,489	△7.9	99.7	－
10月末	9,477	△8.0	99.7	－
11月末	9,453	△8.2	99.2	－
期末 2022年12月16日	9,513	△7.6	99.4	－

（注）基準価額は1万口当たり。期末基準価額は分配金込み。騰落率は期首比。
（注）先物比率＝買建比率－売建比率
（注）当ファンドは、特定の指数に連動すること、特定の指数を上回ることを目的として運用していないため、また、運用方針に対し適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

当期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額等の推移

第４期首：10,299円
第４期末：9,503円（既払分配金10円）
騰 落 率：△7.6%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、期首（2021年12月16日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
（注）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注）単位型投資信託は実際には分配金は再投資されませんのでご留意ください。

■ 基準価額の主な変動要因

基準価額（分配金再投資ベース）は下落しました。モルガン・スタンレーが提供するマルチアセット運用戦略を用いた円建の指数が下落したことや、信用スプレッドの拡大、円金利の上昇により、投資対象であるDIRS VT ER JPY 2018-12（モルガン・スタンレー社債）の価格が下落したことがマイナス寄与しました。

■ 投資環境

【金利市況】

当期の債券市場は、日本、米国、ドイツで長期金利が上昇しました。

ロシアによるウクライナ侵攻がサプライチェーンの混乱や商品相場の高騰に拍車をかけたことや労働市場のひっ迫などを受けて高インフレの長期化への懸念が高まる中、ＦＲＢ（米連邦準備制度理事会）、ＥＣＢ（欧州中央銀行）が積極的に金融引締めを進めたことから、各国で長期金利は上昇しました。

【株式市況】

当期の株式市場は、米国、欧州で下落する一方で、日本は概ね横ばいでした。

世界的にインフレ率が上昇して中央銀行が積極的な金融引締めを進める中で、景気後退懸念が高まったことから、米国、ドイツの株価は下落しました。一方で、日本の株価については、円安の進展や欧米から周回遅れとなっていた経済活動再開による業績改善への期待感が下支えとなり、概ね横ばいとなりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

期を通じて、DIRS VT ER JPY 2018-12（以下「モルガン・スタンレー社債」といいます。）を高位に組入れて運用を行いました。

モルガン・スタンレー社債は、モルガン・スタンレーが提供するマルチアセット運用戦略を用いた円建の指数（以下「MS DIRSインデックス2018-12」といいます。）のパフォーマンスに基づいて算出されるクーポンが支払われます。MS DIRSインデックス2018-12は設定日から当期のクーポン算出日までの期間に1.474％下落し、モルガン・スタンレー社債の当期のクーポンは0.51％となりました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■ 分配金

１万口当たりの分配金（税込み）は、基準価額水準、市場動向等を勘案し、10円とさせていただきました。収益分配に充てなかった利益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■ 今後の運用方針

モルガン・スタンレー社債を高位に組入れ、MS DIRSインデックス2018-12のパフォーマンスに基づいて算出されるクーポンの獲得を目指すとともに、設定日から約10年後の当ファンドの償還価額について、元本※確保を目指します。

※購入時手数料（税込）は含みません。

MS DIRSインデックス2018-12について
モルガン・スタンレー・アジア・リミテッド又はその関係会社は、MS DIRSインデックス2018-12の独占的所有権を有しています。モルガン・スタンレー・アジア・リミテッド又はその関係会社及びデータの作成又は編集に関与又は関係する他の当事者は、いかなる場合も、いかなる者に対しても、同指数並びにこれらに関連するデータの正確性（計算上の過誤・遺漏を含む）、完全性、適時性又は利用可能性、同指数の使用から得られる結果又は過去、現在若しくは将来の運用成績、又は同指数に基づく金融商品への投資の妥当性を、明示的にも黙示的にも保証し、推奨するものではなく、かつ、同指数の利用又は使用に関連して発生することのある、いかなる損害、費用又は損失に対しても責任を負いません。

ファンドは「特化型運用」を行います。一般社団法人投資信託協会の規則において、投資対象に支配的な銘柄が存在し、または存在することとなる可能性が高いものは、特化型ファンドと定められています。支配的な銘柄とは、寄与度（投資対象候補銘柄の時価総額に占める割合）が10％を超えるまたは超える可能性の高い銘柄をいいます。

１万口当たりの費用明細（2021年12月17日から2022年12月16日まで）

費用の明細

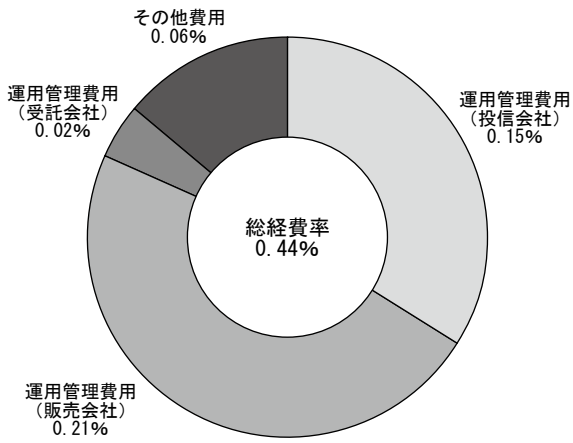
項目	当期 2021/12/17～2022/12/16 金額	当期 2021/12/17～2022/12/16 比率	項目の概要
平均基準価額	9,782円		期中の平均基準価額です。
(a) 信託報酬	38円	0.386%	(a)信託報酬＝計算口当たり計理上元本×信託報酬率
（投信会社）	(15)	(0.150)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(21)	(0.214)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(2)	(0.022)	運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	6	0.056	(b)その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(4)	(0.041)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(1)	(0.015)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	44	0.442	

（注）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注）平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。
（注）「比率」欄は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は、0.44%です。



（注）費用は、１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注）各比率は、年率換算した値です。
（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

売買および取引の状況（2021年12月17日から2022年12月16日まで）

公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	社債券	－	171,334

（注）金額は受渡代金（経過利子分は含まれておりません）。単位未満は切捨て。
（注）社債券には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

当期中の主要な売買銘柄（2021年12月17日から2022年12月16日まで）

公社債

買		付	売		付
銘柄		金額	銘柄		金額
		千円			千円
－		－	DIRS VT ER JPY 2018-12 （モルガン・スタンレー社債）		171,334

（注）金額は受渡代金（経過利子分は含まれておりません）。単位未満は切捨て。

利害関係人との取引状況等（2021年12月17日から2022年12月16日まで）

当期における利害関係人との取引はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細（2022年12月16日現在）

(A) 国内（邦貨建）公社債＜種類別＞

区分	当期末						
	額面金額	評価額	組入比率	うちＢＢ格以下組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
普通社債券	1,314,000 (1,314,000)	1,246,986 (1,246,986)	99.4 (99.4)	99.4 (99.4)	99.4 (99.4)	－ (－)	－ (－)
合計	1,314,000 (1,314,000)	1,246,986 (1,246,986)	99.4 (99.4)	99.4 (99.4)	99.4 (99.4)	－ (－)	－ (－)

（注）（ ）内は非上場債で内書きです。
（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の比率。
（注）評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。
（注）ＢＢ格以下には無格付を含みます。
（注）額面・評価額の単位未満は切捨て。

(B) 国内（邦貨建）公社債＜銘柄別＞

銘柄	当期末			
	利率	額面金額	評価額	償還年月日
（普通社債券）	%	千円	千円	
DIRS VT ER JPY 2018-12（モルガン・スタンレー社債）	－	1,314,000	1,246,986	2028/12/1
合計		1,314,000	1,246,986	

（注）額面・評価額の単位未満は切捨て。
（注）固定クーポンおよび実績クーポンが支払われます。

投資信託財産の構成（2022年12月16日現在）

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	1,246,986	98.8
コール・ローン等、その他	14,828	1.2
投資信託財産総額	1,261,814	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年12月16日現在

項目	当期末
(A) 資産	1,261,814,575円
コール・ローン等	11,797,855
公社債(評価額)	1,246,986,000
未収入金	3,030,720
(B) 負債	6,959,275
未払収益分配金	1,320,541
未払解約金	3,037,760
未払信託報酬	2,508,636
未払利息	21
その他未払費用	92,317
(C) 純資産総額(A－B)	1,254,855,300
元本	1,320,541,001
次期繰越損益金	△ 65,685,701
(D) 受益権総口数	1,320,541,001口
1万口当たり基準価額(C／D)	9,503円

(注) 設定年月日　2018年12月17日
設定元本額　2,515,439,951円
期首元本額　1,496,374,003円
元本残存率　52.4%

(注) 元本の欠損
当期末現在、純資産総額は元本を下回っており、その差額は65,685,701円です。

(注) １口当たり純資産額は0.9503円です。

損益の状況

当期　自2021年12月17日　至2022年12月16日

項目	当期
(A) 配当等収益	7,308,333円
受取利息	6,717,793
その他収益金	594,885
支払利息	△ 4,345
(B) 有価証券売買損益	△ 665,120
売買益	1,462,570
売買損	△ 2,127,690
(C) 有価証券評価差損益	△110,405,200
(D) 信託報酬等	△ 5,887,247
(E) 当期損益金(A＋B＋C＋D)	△109,649,234
(F) 前期繰越損益金	44,753,825
(G) 解約差損益金	530,249
(H) 合計(E＋F＋G)	△ 64,365,160
(I) 収益分配金	△ 1,320,541
次期繰越損益金(H＋I)	△ 65,685,701

(注) 損益の状況の中で
(D)信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(G)解約差損益金とあるのは、一部解約の際、元本から解約価額を差引いた差額分をいいます。

分配金の計算過程

計算期間末における当ファンドの配当等収益額（7,308,333円）から経費（5,887,247円）を控除した額（1,421,086円）に、期末の受益権口数（1,320,541,001口）を乗じて期中の平均受益権口数（1,356,824,340口）で除することにより分配可能額は（1,383,084円）（１万口当たり10円）であり、うち1,320,541円（１万口当たり10円）を分配金額としております。